



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年8月1日

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社

（コード番号：4547 東証第1部）

（URL <http://www.kissei.co.jp/>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 神澤 陸雄

問合せ先責任者 役職名 財務管理部長 氏名 佐藤 公衛 （TEL：(0263) 25 - 9081）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況（百万円未満切捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期 第1四半期	15,375	2.1	1,124	56.9	1,260	54.3	804	59.4
17年3月期 第1四半期	15,713	5.6	2,610	20.7	2,759	7.2	1,981	33.0
（参考）17年3月期	60,933		5,516		5,813		4,734	

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期 第1四半期	14	81	13	04
17年3月期 第1四半期	36	45	31	55
（参考）17年3月期	86	47	75	53

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期における業績は、売上高は153億7千5百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は11億2千4百万円（前年同期比56.9%減）、経常利益は12億6千万円（前年同期比54.3%減）、四半期純利益は8億4百万円（前年同期比59.4%減）となりました。

医薬品事業の売上高は146億6千5百万円（前年同期比1.9%減）となりました。昨年5月に新発売いたしました糖尿病治療薬「グルファスト錠」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。主にライセンスアウト等に伴う技術料売上が減少いたしました。また、その他の事業の売上高は7億1千万円（前年同期比6.2%減）となりました。

利益面では、売上高の減少に加え、製商品構成の変化などにより売上原価が増加し、また新製品育成に伴う医薬情報活動のための諸経費や広告宣伝費などを引き続き積極的に投入しておりますことから、営業利益、経常利益、四半期純利益とも大幅な減益となりました。なお、固定資産の減損に係る会計基準の適用に伴い、土地に係る減損損失2億5千8百万円を特別損失に計上いたしました。

研究開発面では、平成15年5月に承認申請いたしました頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状改善薬「ピロカルピン（一般名）」及び昨年6月に承認申請いたしました当社創製品であります前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「シロドシン（一般名）」の承認取得に向けたフォローを行うとともに、グルファスト錠、ピロカルピンの効能追加等の開発を推進いたしました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期 第1四半期	165,865	120,099	72.4	2,211 07
17年3月期 第1四半期	163,196	118,211	72.4	2,174 65
(参考) 17年3月期	164,943	120,085	72.8	2,210 01

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期 第1四半期	1,374	516	557	49,314
17年3月期 第1四半期	607	487	762	49,517
(参考) 17年3月期	4,563	4,549	1,225	48,983

〔財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期の財政状態は、総資産が前期末と比較して9億2千2百万円増加しております。また、株主資本は1千3百万円増加し、株主資本比率は72.4%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益は減少しましたが、法人税等の支払額が減少したことにより、対前年同期比7億6千7百万円増の13億7千4百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出増などにより、対前年同期比2千8百万円支出増の5億1千6百万円の資金支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金が増加したこともあり、対前年同期比2億5百万円支出減の5億5千7百万円の資金支出となりました。

現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は前期末より3億3千1百万円増加し、493億1千4百万円となりました。

【参考】平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	30,200	1,700	1,200
通期	62,200	4,320	2,800

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 51円55銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

平成18年3月期の業績予想につきましては、中間期・通期とも平成17年5月16日の決算公表時と変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

1. 四半期連結貸借対照表

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	増減率(%)	金額(百万円)
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金	36,172	37,171	998	2.7	35,858
2. 受取手形及び売掛金	26,413	25,007	1,405	5.6	26,151
3. 有価証券	15,888	13,500	2,388	17.7	14,583
4. たな卸資産	10,041	8,331	1,709	20.5	9,797
5. 繰延税金資産	2,084	2,159	74	3.4	1,830
6. その他	5,720	7,027	1,307	18.6	5,526
7. 貸倒引当金	4	4	0	4.0	3
流動資産合計	96,316	93,192	3,124	3.4	93,743
固定資産					
(1)有形固定資産					
1. 建物及び構築物	11,816	12,160	343	2.8	11,768
2. 土地	12,660	12,918	258	2.0	12,918
3. 建設仮勘定	22	84	61	73.1	97
4. その他	2,894	2,850	43	1.5	3,010
有形固定資産合計	27,393	28,014	620	2.2	27,794
(2)無形固定資産	3,802	3,153	648	20.6	3,835
(3)投資その他の資産					
1. 投資有価証券	33,576	32,952	624	1.9	34,917
2. 長期貸付金	1,629	1,686	57	3.4	1,627
3. 長期前払費用	1,259	1,265	5	0.5	1,319
4. 繰延税金資産	466	776	310	39.9	301
5. その他	1,529	2,278	748	32.9	1,512
6. 貸倒引当金	109	123	14	11.7	109
投資その他の資産合計	38,353	38,836	483	1.2	39,569
固定資産合計	69,549	70,004	455	0.7	71,199
資 産 合 計	165,865	163,196	2,669	1.6	164,943

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	増減率(%)	金額(百万円)
(負債の部)					
流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	8,469	6,866	1,602	23.3	8,437
2. 短期借入金	2,274	2,081	193	9.3	2,275
3. 未払法人税等	948	1,594	645	40.5	965
4. 賞与引当金	1,068	842	226	26.8	1,994
5. 返品調整引当金	24	26	2	9.5	23
6. 売上割戻引当金	542	518	23	4.6	649
7. 販売費引当金	240	237	3	1.5	237
8. その他	5,524	4,922	602	12.2	3,710
流動負債合計	19,092	17,089	2,003	11.7	18,295
固定負債					
1. 転換社債	21,777	21,777	-	-	21,777
2. 長期借入金	133	170	37	22.0	139
3. 役員退職慰労引当金	1,317	1,331	13	1.0	1,295
4. 退職給付引当金	3,359	4,532	1,173	25.9	3,258
固定負債合計	26,587	27,811	1,224	4.4	26,470
負債合計	45,680	44,901	779	1.7	44,765
(少数株主持分)					
少数株主持分	85	84	1	1.8	92
(資本の部)					
資本金	24,219	24,219	-	-	24,219
資本剰余金	24,111	24,110	1	0.0	24,111
利益剰余金	71,569	69,209	2,360	3.4	71,344
その他有価証券評価差額金	4,186	4,570	383	8.4	4,390
自己株式	3,988	3,898	90	2.3	3,980
資本合計	120,099	118,211	1,887	1.6	120,085
負債、少数株主持分及び資本合計	165,865	163,196	2,669	1.6	164,943

2. 四半期連結損益計算書

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	増減率(%)	金額(百万円)
売上高	15,375	15,713	337	2.1	60,933
売上原価	6,191	5,488	702	12.8	23,530
返品調整引当金戻入額	23	28	4	15.4	28
返品調整引当金繰入額	24	26	2	9.5	23
売上総利益	9,183	10,226	1,042	10.2	37,406
販売費及び一般管理費	8,058	7,615	443	5.8	31,889
営業利益	1,124	2,610	1,485	56.9	5,516
営業外収益	216	224	8	3.8	672
1. 受取利息	13	11	2	18.2	119
2. 受取配当金	141	120	21	17.6	195
3. 為替差益	32	-	32	-	-
4. 有価証券評価益	6	70	63	90.3	253
5. 雑収入	21	21	0	0.1	104
営業外費用	80	75	4	6.3	375
1. 支払利息	49	49	0	0.7	203
2. 為替差損	-	10	10	-	26
3. 雑損失	30	15	14	92.3	146
經常利益	1,260	2,759	1,499	54.3	5,813
特別利益	267	403	135	33.6	2,265
1. 投資有価証券売却益	267	403	135	33.6	503
2. 厚生年金基金代行返上益	-	-	-	-	1,570
3. 訴訟損害賠償金	-	-	-	-	191
特別損失	271	14	257	1837.2	99
1. 固定資産処分損	12	14	1	7.6	76
2. 減損損失	258	-	258	-	-
3. 投資有価証券評価損	-	-	-	-	22
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,257	3,149	1,891	60.1	7,980
法人税、住民税及び事業税	742	1,382	639	46.3	2,510
法人税等調整額	281	206	75	36.6	719
少数株主損益	6	7	0	10.5	14
四半期(当期)純利益	804	1,981	1,176	59.4	4,734

3. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	(参考) 平成17年3月期
区 分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
・営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,257	3,149	7,980
減価償却費	742	692	3,011
減損損失	258	-	-
引当金の増減額	905	863	681
受取利息及び受取配当金	154	131	315
支払利息	49	49	203
為替差損益	30	10	12
厚生年金基金代行返上益	-	-	1,570
有価証券売却損益	267	403	504
有価証券評価損益	6	70	253
投資有価証券評価損	-	-	22
固定資産処分損	0	14	58
売上債権の増減額	262	412	1,512
たな卸資産の増減額	243	396	1,055
その他流動資産の増減額	200	57	1,032
仕入債務の増減額	5	338	1,236
その他流動負債の増減額	1,839	1,478	268
役員賞与の支払額	35	-	40
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	0	0	69
小 計	2,047	3,628	9,326
利息及び配当金の受取額	135	109	277
利息の支払額	49	49	203
法人税等の支払額	757	3,080	4,836
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,374	607	4,563
・投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	46	53	58
定期預金の払戻による収入	58	49	49
特定金銭信託の払戻による収入	32	-	-
有価証券の売却による収入	-	100	1,188
有形固定資産の取得による支出	309	305	1,658
有形固定資産の売却による収入	2	7	12
無形固定資産の取得による支出	200	658	1,911
投資有価証券の取得による支出	473	1	2,156
投資有価証券の売却による収入	440	413	633
貸付けによる支出	32	30	216
貸付金回収による収入	29	27	215
長期前払費用にかかる支出	0	-	284
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	17	38	363
投資活動によるキャッシュ・フロー	516	487	4,549
・財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入	170	-	470
短期借入金の返済による支出	160	190	440
長期借入金の返済による支出	16	8	65
親会社による配当金の支払額	543	543	1,087
自己株式の取得による支出	8	20	105
自己株式の売却による収入	0	0	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	557	762	1,225
・現金及び現金同等物に係る換算差額	30	10	12
・現金及び現金同等物の増減額	331	654	1,223
・現金及び現金同等物の期首残高	48,983	50,171	50,171
・合併に伴う現金及び現金同等物の受入高	-	-	35
・現金及び現金同等物の期末残高	49,314	49,517	48,983

4.セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当四半期(平成17年4月1日~平成17年6月30日)

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社(百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業利益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	14,665	710	15,375	-	15,375
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	819	819	(819)	-
計	14,665	1,530	16,195	(819)	15,375
営業費用	13,499	1,615	15,114	(864)	14,250
営業利益又は営業損失()	1,165	85	1,080	44	1,124

前年同四半期(平成16年4月1日~平成16年6月30日)

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社(百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業利益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	14,956	757	15,713	-	15,713
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	753	753	(753)	-
計	14,956	1,511	16,467	(753)	15,713
営業費用	12,289	1,584	13,873	(770)	13,102
営業利益又は営業損失()	2,666	73	2,593	17	2,610

(2) 所在地別セグメント情報

当四半期及び前年同四半期において、本邦売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(3) 海外売上高

当四半期及び前年同四半期において、海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

5.販売実績

(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)		増 減	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
医 薬 品 事 業		%		%		%
そ の 他 代 謝 用 薬	486	3.2	693	4.4	207	29.9
神 経 系 用 薬	2,773	18.1	2,543	16.2	230	9.1
感 覚 器 官 用 薬	1,056	6.9	1,014	6.5	42	4.2
循 環 器 官 用 薬	4,372	28.4	4,104	26.1	267	6.5
消 化 器 官 用 薬	523	3.4	494	3.1	28	5.7
ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬	2,971	19.3	3,041	19.4	70	2.3
ア レ ル ギ ー 用 薬	818	5.3	890	5.7	71	8.1
そ の 他	1,662	10.8	2,173	13.8	511	23.5
計	14,665	95.4	14,956	95.2	291	1.9
そ の 他 の 事 業	710	4.6	757	4.8	46	6.2
合 計	15,375	100.0	15,713	100.0	337	2.1
(うち輸出高)	(243)	(1.6)	(149)	(1.0)	(93)	(62.3)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結) 補足資料

1. 主要医薬品売上推移

(百万円)

製品名	決算期	H16('04)年 3月期	H17('05)年 3月期	H18('06)年3月期予想		H17年3月期 第1四半期	H18年3月期 第1四半期
				通期	うち上期		
糖尿病治療剤 グルファスト		—	1,543	2,520	1,130	693	486
パーキンソン病治療剤 カバサル		9,538	10,010	10,620	5,340	2,473	2,705
アレルギー性結膜炎治療剤 リザベン点眼液		3,184	4,585	3,960	1,560	721	753
緑内障・高眼圧症治療剤 リズモンT G点眼液		1,152	1,138	1,160	590	292	302
高脂血症治療剤 ベザトール		11,317	10,481	11,040	5,480	2,655	2,815
脳循環改善剤 キサンボン		6,850	5,554	5,480	2,770	1,447	1,276
女性ホルモン剤 エストラダーム		599	538	490	250	145	138
子宮内膜症治療剤 ゾラデックス1.8mgデポ		1,403	1,220	1,350	670	310	278
切迫流・早産治療剤 ウテメリン		7,259	6,368	6,240	3,260	1,664	1,615
血液凝固阻止剤 フラグミン		3,226	2,921	2,860	1,440	739	739
活性型ビタミンD ₃ 製剤 フルスタン		570	691	800	390	180	199
アレルギー性疾患治療剤 リザベン		2,812	2,856	2,720	1,360	679	626
気管支喘息治療剤 ドメナン		920	780	690	350	210	192
血圧降下剤 シナロング		—	312	1,280	600	—	280
体外診断用医薬品 フリースタイルキッセイ		1,079	1,308	1,410	690	319	369

2. 新薬開発状況(国内)

(平成17年8月1日現在)

開発段階	製品名／ 一般名	開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用	備考	
承認申請中	シロドシン (silodosin)	KMD-3213	創製品／第一製薬共同開発	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1A受容体拮抗作用		
臨床 試験	第Ⅲ相	ピロカルピン (pilocarpine)	導入品／エム・ジー・アイ・ファーマ(アメリカ)	シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	効能追加	
	第Ⅱ/Ⅲ相	グルファスト錠 (GLUFAST)／ ミチグリニド (mitiglinide)	KAD-1229	創製品／自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善 (α -グルコシダーゼ阻害剤との併用療法)	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
		グルファスト錠 (GLUFAST)／ ミチグリニド (mitiglinide)	KAD-1229	創製品／武田薬品共同開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善(ピ オグリタゾンとの併用療法)	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
	第Ⅰ相		KUC-7483	創製品／自社開発	過活動膀胱に伴う頻尿・尿失禁	β 3受容体刺激作用	
			KUR-1246	創製品／帝国臓器製薬共同開発	切迫早産	β 2受容体刺激作用	
		KUL-7211	創製品／自社開発	尿管結石に伴う痙痛緩解、排石促進	β 2, β 3受容体刺激作用		

3. 新薬開発状況(海外)

(平成17年8月1日現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	開発区分／導出先	導出先権利許諾地域	予想される適応症	主な作用
第Ⅲ相	シロドシン (KMD-3213)	ワトソン(アメリカ)	アメリカ、カナダ、メキシコ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1A受容体拮抗作用
第Ⅱ相	ミチグリニド (KAD-1229)	自社開発		2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	KGT	グラクソ・スミスクライン(イギリス)	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	2型糖尿病	SGLT2阻害作用
	※KUR-1246	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	切迫早産	β 2受容体刺激作用
	※シロドシン (KMD-3213)	レコルダッチ(イタリア)	欧州(45カ国)	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1A受容体拮抗作用
	VX-702 (KVK-702)	ヴァーテックス(アメリカ)共同開発		関節リウマチ	p38MAPキナーゼ阻害作用
第Ⅰ相	KUC-7483	ベーリンガーインゲルハイム(ドイツ)	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	過活動膀胱に伴う頻尿・尿失禁	β 3受容体刺激作用
	KFA-1982	自社開発		深部静脈血栓症など	ファクターXa阻害作用

※メディシノバに技術導出したKUR-1246は第Ⅱ相臨床試験準備中とともに米国での第Ⅰ相臨床試験中、また、レコルダッチに技術導出したシロドシン(KMD-3213)は導出先による臨床試験の準備中